

平成23年度北海道文化財年報



平成23年度 道指定有形文化財
大麻3遺跡出土の土偶（江別市）

平成23年度 道指定有形文化財
二風谷遺跡群出土品（平取町）



平成24年6月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

この年報では、大麻3遺跡出土の土偶や二風谷遺跡群出土品など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組み、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報をご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】

○ 大麻3遺跡出土の土偶（江別市郷土資料館 収蔵）

江別市大麻3遺跡から重なった状態で出土した、縄文時代晩期のほぼ完形の2点の土偶です。同一遺構から複数の土偶が出土する例は極めて少なく、完形で重なった状態での出土は我が国で唯一の事例です。また、大きさ・形状が異なることから男女の性差を表しているとの説もあります。

（表紙写真撮影 佐藤雅彦）



左：土偶（大） 右：土偶（小）

○ 二風谷遺跡群出土品（沙流川歴史館 収蔵）

平取町字二風谷に所在する沙流川左岸段丘上の3つの遺跡（ホモイヰン跡・コイヰン跡・二風谷遺跡）の発掘調査で発見された資料です。生活用具、武具、生産用具など123点の出土品からなり、15世紀～17世紀の生活実態を知る上での貴重な資料です。



二風谷ダム建設前の3つの遺跡位置

I 平成23年度文化財保護の主なあゆみ

○新指定の文化財

遠軽町「北海道白滝遺跡群出土品」が重要文化財に、別海町「旧奥行臼駅通所」が国の史跡に指定されました。また室蘭市の「絵鞆半島外海岸」が名勝ピリカノカに追加指定され、洞爺湖町では史跡入江・高砂貝塚の指定地域の追加が行われました。この他、考古資料として2件が道の有形文化財に指定され、国の登録文化財に11件が登録されました。

○世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成21年1月5日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4道県と関係12市町は、平成27年度の世界遺産登録をめざし、平成22年度に引き続いて、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを実施しました。

○北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度に毎年10月8日～11月7日を北海道文化財保護強調月間に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成23年度は期間中に、53市町で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど147事業が実施され、多くの方が参加しました。

○アイヌ民俗文化財の保存・伝承

アイヌ民俗文化財の伝承・活用事業として、アイヌ用語学習講座を道内7会場、アイヌの伝統的有形・無形の風俗習慣に関する伝承講座を道内10会場、アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座を道内11会場で実施しました。

○文化財の保存整備

北海道や市町村などが主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を13件実施しました。

○埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う130件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は79件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

1 新たに指定・登録された文化財

国の関係では、重要文化財の指定が1件、史跡の指定が1件、追加指定が1件、名勝の追加指定が1件、登録有形文化財（建造物）の登録が11件あり、道の関係では有形文化財（考古資料）の指定が2件あります。

●重要文化財

- ①遠軽町「北海道白滝遺跡群出土品」（平成23年6月27日付け）

●史跡

- ①別海町「旧奥行臼駅通所」（平成23年9月21日付け）
- ②洞爺湖町「入江・高砂貝塚」（平成23年9月21日付け 指定地域の追加指定）

●名勝

- ①ピリカノカ
室蘭市「絵鞆半島外海岸」（平成24年1月24日付け）

●道指定有形文化財

- ①江別市「大麻3遺跡出土の土偶」（平成24年3月19日付け）
- ②平取町「二風谷遺跡群出土品」（平成24年3月19日付け）

●登録文化財（有形文化財）

- ①夕張市「夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）」（平成23年10月23日付け）
 - ②函館市「高龍寺本堂」
 - ③函館市「高龍寺開山寺」
 - ④函館市「高龍寺山門及び袖塀」
 - ⑤函館市「高龍寺防火塀」
 - ⑥函館市「高龍寺金毘羅堂」
 - ⑦函館市「高龍寺水盤舎」
 - ⑧函館市「高龍寺鐘楼」
 - ⑨函館市「高龍寺宝蔵」
 - ⑩函館市「高龍寺位牌堂」
 - ⑪函館市「高龍寺土塀」
- （高龍寺関係は平成24年2月23日付け）

新指定文化財の位置



重要文化財 北海道白滝遺跡群出土品（遠軽町）

【所在地】紋別郡遠軽町白滝138－1 遠軽町埋蔵文化財センター

【員 数】 石器 1, 423点 接合資料 435組

【解 説】黒曜石原産地の赤石山麓に広がる河岸段丘上に形成された遺跡群からの出土品です。

原石から石器を製作する過程を示す資料、石材からの剥離過程を示す接合資料など多彩な内容で構成されています。遺物量は我が国における後期旧石器時代遺跡の中でも群を抜く多さを誇ります。我が国で最大の規模・質量を誇る後期旧石器時代の遺跡資料として貴重です。



【問い合わせ先】 電話0158－48－2213(ジオパーク推進課／白滝教育センター)

ホームページ： <http://engaru.jp/geo/visitorcenter.html>

史跡 旧奥行臼駅通所（きゅうおくゆきうすえきていしょ）（別海町）

【所在地】 野付郡別海町奥行 9 番 22 ほか 【面 積】 61,496.01m²

【解 説】 旧奥行臼駅通所は、明治 43 年（1910）から昭和 5 年（1930）までの間、人馬の継ぎ立てと宿泊、物資の通送等の便宜を図った施設であり、北海道東部の根室と別海の間、根室湾から約 9 キロメートル内陸の別海町奥行に所在します。

駅通所とは、近代の北海道において、交通不便の地に駅舎や人馬等を備え、宿泊・輸送等の便宜を図った施設です。奥行臼駅通所開設に際しては、地元で牧畜業を営む山崎藤次郎氏が駅通取扱人となり、その自宅が駅舎として使用されました。

駅舎は、明治末から大正初期の増築を経て、大正 9 年（1920）には客室として 2 階建ての寄棟が増築され、物資運搬等の拠点として機能しました。その後、殖民軌道根室線の開通や、内陸部への入植が進んだことから昭和 5 年に廃止されました。

当時を偲ばせるものとして、駅舎 1 棟、馬屋 2 棟、倉庫 1 棟が現存しています。このうち駅舎は、木造寄棟造（一部切妻造）二階建て建物であり、駅通最盛期の大正時代の趣を残しています。

周囲には旧道や駅通所時代以来の牧草地が広がり、往時の歴史的景観を今に良く伝えているほか、古文書、調度品等も多数残されています。このように、旧奥行臼駅通所は、我が国近代の北海道開拓の歴史を知る上で貴重です。

【問い合わせ先】 別海町教育委員会生涯学習課 電話 0153-75-2111

ホームページ：<http://betsukai.jp/blog/0002-2/index.php?ID=102>



駅舎建物の現状
（道指定有形文化財「奥行臼駅通」）



大正末年頃（1920 年代）の奥行臼駅通

史跡 入江・高砂貝塚（洞爺湖町）

【所在地】 虻田郡洞爺湖町高砂町 61 番ほか（追加指定地番）

【面積】 10,957.71m²（追加指定面積、総面積は 65,485.90m²）

【解説】 縄文時代後期を中心とする入江貝塚と、後期初頭から晩期にかけての高砂貝塚からなる史跡です。両貝塚は竪穴建物や配石遺構のほか、多数の墓が検出されています。噴火湾沿岸を代表する縄文時代貝塚として、昭和 63 年に入江貝塚が史跡指定され、平成 14 年には高砂貝塚がこれに追加指定されています。

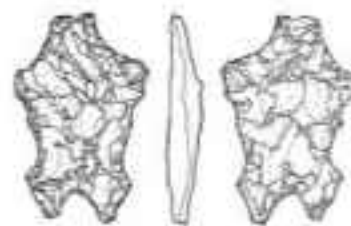
今回は、高砂貝塚のうち、指定の要件が整った地域が追加指定されました。

【問い合わせ先】 洞爺湖町教育委員会社会教育課 電話 0142-74-3010

ホームページ：<http://www.town.toyako.hokkaido.jp/iritaka/index.html>



追加指定地の現状
（高砂貝塚北側部分）



追加指定地の発掘で発見された「石偶」

（長さ 5.5cm、縄文晩期、約 2,600 年前）

白く見えるのは 1663 年の有珠山噴火で積もった火山灰

名勝 ピリカノカ

絵鞆半島西海岸（えともはんとうそとかいがん）（室蘭市）

【解説】アイヌのユカラに謡われた物語・伝承の舞台をはじめ、カムイ（神）に対する祈りの場であるチノミシリの伝承地、アイヌ語により命名された独特の地形から成る土地などは、いずれも良好な自然の風致景観を成し、アイヌ語で「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」と呼ぶに相応しい一群の景勝地を構成しています。

「絵鞆半島西海岸」のある室蘭市は、内浦湾（噴火湾）の東端に位置し、南を絵鞆半島に囲まれており、内湾は波浪の穏やかな天然の良港であるのに対し、外洋側の太平洋に面した一帯は、急峻な断崖が10数キロメートルにわたり続き、入江・岩礁が連続した複雑な海岸線を呈しています。断崖とその頂部付近は、通年の強風により樹木が育ちにくく、カシワの樹間にチシマザサが叢生する独特の植生が見られます。

近世以来、要衝であった室蘭を訪れた多くの人々により、アイヌ語地名が古文書、絵図等に記録され、近代以降は地図等にも残されており、これらの記録や伝承は他の地域に比べて豊富です。

近世では、今井八九郎・松浦武四郎により紀行文や絵図・測量図に記載が残され、明治以後には永田方正・河野常吉により地名調査が行われました。さらに昭和30年代には知里真志保と山田秀三の両名により、アイヌ語地名に焦点を当てた調査が実施され、それまでに残されていた100余りのアイヌ語地名の場所を同定し、語義の再検討を行うなど調査研究の進展に大きく貢献しています。また、近年でも絵図等の新たな記録類が発見されており、この地域を対象としたアイヌ語地名研究は現在も盛んです。

絵鞆半島の外洋側及び海域の岩礁には、アイヌ語地名の語源となる地形が良く残っていますが、なかでも、今回の指定範囲であるハルカラモイ、増市浜、地球岬、トッカリショ浜の4箇所は特に景勝地としても風致景観が良好です。

このような、アイヌの物語・伝承、祈りの場、言語に彩られた優秀な景勝地群を、「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」の下に保護することを目的として、今回「絵鞆半島西海岸」が名勝に指定されました。

【所在地】 「絵鞆半島西海岸」：室蘭市母恋南町ほか

【問い合わせ先】

室蘭市教育委員会 電話0143-22-5101

ホームページ：<http://www.city.muroran.lg.jp>



〔ハルカラモイ〕

アイヌ語地名では「ハルカルモイ」

語源は「ハル・カル・モイ」〔食料・とる・入江〕



〔増市浜〕

アイヌ語地名では「マスイチセ」

語源は「マシ・チセ」〔海猫(の)・家〕



〔地球岬〕

アイヌ語地名では「ポロチケウエ」

語源は「ポロ・チケプ」〔親である・断崖〕



〔トッカリシヨ浜〕

アイヌ語地名では「トゥカリシヨ」

語源は「トゥカル・イシヨ」〔アザラシ・岩〕

道指定有形文化財 大麻3遺跡出土の土偶(江別市)



【解 説】 この資料は、江別市大麻3遺跡^{どこう}の土坑上から重なった状態で出土した縄文時代晩期後葉に属するほぼ完形の2点の土偶です。

縄文時代に、同一遺構から複数の土が出土する例は極めて少なく、完形で重なった状態での出土は我が国で唯一の例です。

2点とも板状で全面に縄文が施され、頭・両手・両足が単純に表現されており、道央部を中心に出土している縄文時代晩期後葉の土偶の特徴を有しています。



その形状や出土状況から、北海道における土偶の特徴や祭祀^{まつり}を考えることができ、学術的価値も非常に高い文化財です。

【所在地】 江別市郷土資料館（江別市緑町西1丁目38）

【問い合わせ先】

江別市郷土資料館：(011)385-6466

ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/kyouiku/bunkazai/bunkazai.html>

道指定有形文化財

二風谷遺跡群出土品（にふたにいせきぐんしゅつどひん）（平取町）



【解 説】二風谷遺跡群出土品は、平取町字二風谷に所在する沙流川左岸段丘上のポロモイチャシ跡・ユオイチャシ跡・二風谷遺跡の発掘調査で発見された文化財です。

これらの遺跡が所在する沙流川流域は、先史時代から近世に至るまでの遺跡が多数発見されており、とりわけアイヌ文化に関する遺跡や伝承が多い地域です。

ポロモイチャシ跡等の遺跡は、樽前火山灰 b 層（西暦1667年降下）に被覆された状況で確認され、その出土品は下限年代を17世紀と特定できます。

チャシ跡や2つの土坑墓からの出土品は、絵唐津大皿・中国明代後半の染付碗・漆碗（秀衡碗）・内耳鉄鍋の生活用具、刀・槍・星兜などの武具、山刀・刀子・鉈・鎌・芋引金・骨製中柄などの生産用具、装身具に使用されたガラス玉・銅銭などであり、北海道の15世紀～17世紀の生活実態を示す貴重な資料であることから、当該期の北海道の歴史を考える上での指標となっており、学術的にも価値の高い貴重な文化財です。

【所在地】沙流川歴史館（沙流郡平取町字二風谷 277-2）

【問い合わせ先】沙流川歴史館：(01457)2-4085

・ホームページ

http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/shisetsu/shi_bunka01.html#bunka09

・登録有形文化財

夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）

【年代】大正2年（大正5年増築）

【所在地】夕張市鹿の谷2丁目4番地

【解説】大正2年建築の木造平屋建物。中央に本館を配し、東西の別館と廊下で繋ぐ構成で、建築面積1,609㎡に及ぶ。本館は和室と洋室を雁行型に配し、寄棟や切妻の屋根を複雑に連続させ、下屋庇をまわし、深い陰影を見せ、皇室の宿所にも使用された、上質な迎賓施設です。

【問い合わせ先】夕張市教育委員会教育課 電話：0123-52-3166

ホームページ：<http://www.city.yubari.lg.jp/index.html>



・登録有形文化財

高龍寺本堂、高龍寺開山堂、高龍寺山門及び袖塀、高龍寺防火塀、
高龍寺金毘羅堂、高龍寺水盤舎、高龍寺鐘楼、高龍寺宝蔵、高龍寺位牌堂、
高龍寺土塀

【年代】明治30年頃～昭和8年

【所在地】函館市船見町21-1他

【解説】函館山北麓の寺院が多数所在する地区に境内を構える曹洞宗寺院で、明治21年の大火後に再建された本堂と開山堂、同40年の火災後の再建になる山門や金毘羅堂などで構成されています。

本堂は桁行九間梁間八間の大型建築で、良質なケヤキの太い柱や梁により、広く力強い内部空間を作り、正面の向拝や内部の欄間などには立体的で精緻な彫刻を飾る。山門や金毘羅堂、水盤舎、鐘楼も同様に豊かな彫刻で装飾されており、見応えのある境内景観を創っています。

この他、煉瓦造りの開山堂や宝蔵が建ち、また境内外郭には高い煉瓦塀を廻らしており、しばしば大火に見舞われた函館らしく防火への配慮がみられます。

【問い合わせ先】函館市教育委員会生涯学習部文化財課 電話：0134-21-3463



高龍寺本堂



高龍寺開山堂



高龍寺山門及び袖塀



高龍寺防火塀



高龍寺金毘羅堂



高龍寺水盤舎



高龍寺鐘楼



高龍寺宝蔵



高龍寺位牌堂



高龍寺土塀

3 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月 5 日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の 3 件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されました。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、平成 23 年度も登録推進のための事業を継続しました。また、北海道教育委員会においても、知事部局と連携し、登録推進のための情報発信事業を行いました。

（１）世界遺産登録に向けた体制と事業について

平成 21 年 6 月 1 日、青森・岩手・秋田の 3 県と北海道の知事が締結した協定により「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が設置されました。協定に基づき「本部」が行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。そこで関係自治体が主体的に推薦書の案を準備し、推薦の条件を整えようとするものです。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があります、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

「本部」のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれの事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っ



ています。平成 23 年度には推進会議と専門家委員会を各 3 回開催し、推薦書案の作成を進めたほか、海外の専門家 2 名を招聘し、遺跡の視察・意見交換、シンポジウムを含む国際会議、広く道民に情報発信を図るための登録推進フォーラムなどを実施しました。

函館市で開催したフォーラムの様子

（平成 23 年 11 月 26 日 函館市民会館）

（２）北海道の独自事業について

平成 14 年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成 16 年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の 3 県とともに進めてきました。暫定一覧表への記載実現はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成 23 年度においては、世界遺産の登録を目指す取組を一元的に推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、道内における気運の醸成を図るために「北の縄文・パネル展」を 10 月に札幌市、11 月に帯広市で開催しました。

以上の登録推進事業については北海道教育委員会のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm>

（３）「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成 19 年 9 月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内「暫定一覧表記載資産の追加について」などをご覧ください。

http://bunka.nii.ac.jp/jp/world/h_14.html

平成 23 年度も資産を構成する史跡標津遺跡群の発掘調査が継続されて遺跡内容の理解が進展し、また史跡常呂遺跡（北見市）のうち常呂市街に隣接するトコロチャシ跡地区の整備方針の検討が進みました。この資産の世界遺産登録推進のためには、二つの史跡の調査や整備に加え、同様な資産を有する他の市町村とも連携しながら道北・道東に及ぶ大規模な竪穴住居跡群の調査研究を行い、海外の類似の遺跡とも比較しながらその価値を明らかにする作業が必要であり、オホーツク管内市町村文化財専門職員の連絡会議においても、北見市教育委員会・北海道教育委員会からの説明に基づき竪穴群の登録に向けた課題が議論されました。

4 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成 20 年度に毎年 10 月 8 日～11 月 7 日の期間を、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の 6 者により共同で、設定したものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施するものです。

平成 23 年度は、第 4 回目として、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベントが、53 市町で 147 の事業が実施されました。また、北海道教育委員会では、10 月 23 日～29 日に道庁ロビーなどで「世界遺産をめざして-北の縄文・パネル展 2011」（北海道と共催）を開催し、多くの皆様にご来場頂きました。

なお、第 4 回北海道文化財保護強調月間ポスターには、平成 22 年度に開催されたイベント等の写真を一部掲載しました（旧手宮鉄道施設機関車庫三号）。

今後も、様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を身近に親しんでいただく機会づくりを、市町村教育委員会等の協力を得ながら、取り組みます。

・文化財保護強調月間について→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>



「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち6団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成20年7月17日



重要文化財「旧手宮鉄道施設」(小樽市)
(機関車庫三号の修理工事パネル展)



町指定文化財「妹背牛獅子舞」(妹背牛町)
(妹背牛町総合文化祭での発表)



子どもの文化財愛護活動推進事業
「栗山の縄文世界」(栗山町)
(写真提供：北海道文化財保護協会)



世界遺産をめざして
-北の縄文・パネル展 2011-
(道庁ロビー展示)

5 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる次の2件の調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に関係する道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布し、活用を図りました。

①アイヌ民俗文化財に関する調査事業

北海道内に伝承されている代表的なアイヌ民俗技術に関する詳細調査を行い、その成果を次の報告書として刊行しました。

・『平成23年度アイヌ民俗文化財調査報告書（アイヌ民俗技術調査4）〈詳細調査〉』

②金成(かなり)マツノート整理・翻訳、刊行事業

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・金成^{かなり}マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

・ユーカラシリーズ40『アイヌ英雄叙事詩「コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る」』
蓮池悦子訳

・ユーカラシリーズ41『アイヌ英雄叙事詩「シノッチャ みだらごとにふける女の歌ほか」』高橋靖以・切替英雄訳

・ユーカラシリーズ42『アイヌ英雄叙事詩「コタンラウンクルがフレウケウンクルに化ける曲」』萱野志朗訳

(2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、基本的な生活用語や伝統的な風俗習慣及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

①アイヌ文化を理解するための基本的なアイヌ用語学習講座：道内7会場(延べ140講座、延べ参加人員1,151人)

②アイヌの伝統的有形、無形の風俗習慣に関する伝承講座：道内10会場(延べ59講座、延べ参加人員481人)

③アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座：道内11会場(延べ55講座、延べ参加人員781人)



アイヌ古式舞踊練習風景

6 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護・保存をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、縄文時代の漆製品などの保存や修理、史跡・名勝の保全などの事業を行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要文化財 (建造物)	上國寺(じょうこくじ) 本堂	上國寺は宝暦 8 年(1758) に建てられた浄土宗のお寺で、北海道では数少ない 18 世紀にさかのぼる建築物です。 経年劣化による損傷が大きく、平成 20 年度から修理事業を実施し、平成 23 年度は工事最終年として、基礎工事、屋根工事(こけら葺き)、彫刻欄間補修などの建具工事の他、塗装工事を実施しました。	上國寺 (上ノ国町)
重要文化財 (建造物)	太刀川家住宅 店舗	太刀川家住宅店舗は、明治 33 年(1900) に建てられた土蔵造店舗で、明治末期の典型的な開港場商家として重要な建築物です。 平成 23 年度は部分修理として、屋根の葺替、外壁の漆喰壁塗り直し、塗装工事を実施しました。	太刀川 善一 (函館市)
重要文化財 (考古資料)	カリンバ遺跡 墓坑(ぼこう) 出土品	カリンバ遺跡墓坑出土品は恵庭市カリンバ遺跡の縄文時代のお墓から出土した漆製品などの副葬品です。 平成 23 年度は、漆塗り額飾り 4 点、耳飾り 2 点、髪飾り輪 1 点、髪飾り紐 1 点、腰飾り帯 1 点、サメ歯 1 点、縄文土器 4 点の修理を行い、保存箱 5 点を製作しました。	恵庭市
重要文化財 (歴史資料)	蝦夷三官寺善 光寺(えぞさん かんじぜんこう じ)関係資料	善光寺は、蝦夷地で死亡した武士、商人や出稼ぎ人などの供養及び邪宗門禁制のため、江戸時代に建立されました。 平成 23 年度は、絹本着色「裕誉壮海上人画像」1 点の修理及び重要文化財の収納具 2 点の製作を行いました。	善光寺 (伊達市)
重要文化財 (歴史資料)	蝦夷三官寺国 泰寺(えぞさん かんじこくたい じ)関係資料	国泰寺は、東蝦夷地の警備、和人の定着化等を目的として文化元年(1804 年) に建立された寺院で、境内には、『日鑑記』を含む文書・記録類、經典類、器物類等、総点数 832 点からなる貴重な資料(国泰寺関係資料) が保管されてきました。 平成 23 年度から 26 年度の 4 年間をかけて、破損物品 43 点に係る保存修理事業が開始されました。	国泰寺 (厚岸町)

指定文化財の保存整備

○重要文化財「上國寺本堂」(上ノ国町)



建物外観（屋根工事終了後）



屋根工事（こけら葺き完了）

○重要文化財「太刀川家住宅店舗」(函館市)



建物外観（工事完了後）



屋根工事（瓦葺き替え）

○重要文化財「カリンバ遺跡墓坑出土品」(恵庭市)



縄文土器（注口形、浅鉢形）（修理完了後）

腰飾り帯（修理完了後）



種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が合流した特色ある城郭です。 平成 23 年度は陥没の見られる堀の排水路部分の修理方法を検討するために発掘調査が行われたほか、石垣の変動状況の調査、また傷みの進んだ「二の橋」敷板の取替が実施されました。	函館市
史 跡	松前氏城跡 のうち 福山城跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した我が国最北の城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。 23 年度は本丸の西側に位置する堀廻り地区の環境整備を実施し、浚渫等により水を湛えた本来の堀の姿が一部復元されました。また史跡内にある光善寺庭園の発掘調査が継続され、庭園の変遷について解明が進みました。	松前町
史 跡	最寄(もよろ)貝塚	最寄貝塚は網走川河口左岸の砂丘上にあり、5～10 世紀頃、道東・道北地方の沿岸部を中心に栄えたオホーツク文化を代表する遺跡の一つです。 23 年度は遺構展示施設予定地での発掘調査ののち、新ガイダンス施設・遺構展示施設の建設工事が行われ、流れるような屋根形状をもつ建物が完成しました。24 年度にはその内部で遺構復元表示等の設営が行われ、25 年度に新施設が公開される予定です。	網走市
史 跡	東蝦夷地南部 藩陣屋跡 のうち モロラン陣屋跡	モロラン陣屋は東蝦夷地の沿岸警備のため安政 3 (1856) 年に設置され、同じく南部藩の建設した砂原陣屋(砂原町)・ヲシヤマンベ陣屋(長万部町)とともにその跡地に土塁・堀などの遺構がよく残っています。 23 年度は発掘調査で遺構等を確認したうえで雨水排水施設の整備がなされ、また陣屋に附属する台場・勤番所の跡を含めた史跡境界標の改修が実施されました。	室蘭市
史 跡	国泰寺跡	国泰寺は 19 世紀はじめに幕府が蝦夷地に設置した 3 つの寺院(三官寺)の一つで文化 2 (1805) 年の開山、当時の記録類も多く保存され、北海道の宗教・文化史上に重要な位置を占めます。	厚岸町

		23年度は境内の歴史的景観の保全のため、老朽化の進んだ山門・中門の修理が行われました。	
史 跡 天然記念物	標津遺跡群 標津湿原	標津遺跡群には縄文時代から擦文時代にかけての約2,500基にのぼる竪穴住居跡群や、アイヌ文化期のチャシ跡2基などが保存されています。また、標津湿原は標津川下流とポー川に挟まれた地域にあり、エゾゴゼンタチバナなど80種類の湿原植物が生育しています。 23年度も伊茶仁（いちやに）カリカリウス遺跡の内容を確認するための発掘調査と、湿原の水位を回復し環境を保全するための排水溝止水工事・水位調査を継続したほか、広大な指定地の将来に向けた保存活用方法の検討が進められました。	標津町
名 勝	ピリカノカのうち 襟裳岬（オンネエンルム）	襟裳岬はアイヌ語で「大きな岬」を意味する「オンネエンルム」と呼ばれ、日高山脈の南端が太平洋に没する雄大な景観で知られています。 えりも町では23年度から「襟裳岬」を生かした観光振興・地域活性化事業に着手し、名勝の標識設置、6言語による解説パンフレットの作成・配布、学習会の開催等を行いました。	えりも町

○史跡 松前氏城跡のうち福山城跡（松前町）

堀廻（ほりまわ）り地区の
環境整備（堀に堆積した土砂の浚渫工事）



○史跡 最寄貝塚（網走市）

ガイダンス施設と遺構展示施設を
一体化した新しい建物



種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要伝統的 建造物群 保存地区	函館市元町末 広町重要伝統 的建造物群保 存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。平成23年度は、遺愛幼稚園主屋など4件の修理事業を実施しました。	函館市
重要文化的 景観	アイヌの伝統 と近代開拓に よる沙流川流 域の文化的景 観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 平成23年度は、現地説明会や特別展の開催、文化的景観ガイドシートの作成を行いました。	平取町



○函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区
(函館市)

「カトリック元町教会司祭館」(修理完了後)



○平取町重要文化的景観(平取町)

[チセの修景]

◆チセはアイヌ語で家のことです。

このチセは地域のアイヌ文化振興に活用される場であり、建築技術を継承する意味もあります。

7 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道・市町村の教育委員会とが前もって協議をおこない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できるかぎりの調整をおこなっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような開発や工事から埋蔵文化財を保護するため、10,419.050ha について所在調査を、219.871ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を図りました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

- ① 工事や開発を計画



- ②  埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます

※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合

- ③  埋蔵文化財保護のための事前協議書提出(工事等の計画者→市町村→道教委へ)

- ④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。
(川や海のそばの高台は特に要注意！)

土器・石器などが落ちていないか
実際に現地を歩いてみて調査します。



→遺跡が所在しない場合は着工

⑤ 試掘調査 (市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。

掘った土の中に土器・石器等があるか
調べます。



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。 (出土した土器 約 2000 年前のもの)
(中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡)



→遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。
(北海道教育委員会など)

- (1)現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2)発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3)工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- (4)慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

8 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査や分布調査などを行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される 62 箇所の所在調査、5 箇所の試掘調査や火山灰採取に先立つ高野 3 遺跡の発掘調査を実施しました。発掘の結果、縄文時代後半の墓や縄文時代早期・中期の土器、石器等が検出されました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	砂原陣屋跡の史跡指定地の周辺で遺構等の確認調査を行い、堀と想定される溝跡が検出されました。また、環状列石の保存処理に関する調査や劣化防止措置、町内の 2 遺跡の試掘調査を実施しました。	森町
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡館城跡の内容を確認するため発掘調査を実施しました。調査により西辺の堀や柵列が検出され、北辺では自然の沢状地形が外郭線として用いられた可能性の大きいことが確認されました。	厚沢部町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される 6 箇所の所在調査と 26 箇所の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	札幌市
埋蔵文化財	市内遺跡	住宅建設に先立って遺跡の発掘調査を実施し、縄文時代後期の土坑 4 基・柱穴 37 個等が確認されました。	恵庭市
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される 3 箇所の試掘調査と苫東柏原地区の分布調査を行い、4 箇所の遺跡を確認しました。1 箇所の遺跡から縄文時代の落とし穴が検出されました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡北黄金貝塚に隣接する北黄金 2 遺跡の試掘調査を実施しました。縄文時代前期の盛土遺構や貝塚の範囲や時期による変遷が明らかになり、両遺跡が一連の遺跡であることが再確認されました。	伊達市
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の貝塚がある史跡入江・高砂貝塚周辺の地形や遺構・遺物の分布状況を確認するための試掘調査を実施しました。調査の結果、面崖式のチャシ跡が確認され、縄文前期から縄文後半の遺物が出土しました。	洞爺湖町
埋蔵文化財	町内遺跡	オフイチャシ跡の形態や規模、時代を明らかにするために詳細測量と試掘調査を実施しました。壕 3 箇所や平坦面 6 箇所等が検出され、火山灰の分析から 18 世紀前半以前に構築されたことが確認されました。	中川町

埋蔵文化財	町内遺跡	過去に町内遺跡の発掘調査等で出土した遺物の公開活用を目的として、鉄製品・銅製品・木製品・骨角器に合成樹脂をしみ込ませる保存処理を行いました。	上ノ国町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり等の体験学習会・講演会、旧白滝地区の遺跡に関する講演会を実施し、赤石山の見学会を実施しました。また、埋蔵文化財センターを紹介するリーフレットや展示資料のパンフレット等を作成しました。	遠軽町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	町内の縄文遺跡を紹介する展示を行い、関連する講演会を実施しました。鶯ノ木遺跡や縄文文化、世界遺産についての理解を促進するワークブックを作成しました。	森町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	千歳市埋蔵文化財センターで縄文人の生活の体験学習会や史跡キウス周堤墓群をテーマとした企画展・講演会を実施しました。また、市民向けの千歳市遺跡地図を作成しました。	千歳市



○オフイチャン跡
壕の調査状況
(中川町)



○高野3遺跡墓か
ら出土した土器
(美幌町)

○館城跡 堀の検出状況 (厚沢部町)

9 発掘調査

平成 23 年度は北海道内で 79 件、78,918 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	44	45,288 m ²
財団法人北海道埋蔵文化財センター	21	30,821 m ²
大学・博物館等	14	2,809 m ²

○オホーツク文化の墓壇（網走市 最寄貝塚）



網走市の国指定史跡最寄貝塚では、「モヨロ貝塚ガイダンス施設・遺構保存公開展示施設」建設に先立ち、オホーツク文化の 6 基の墓壇の発掘調査が行われ、この調査内容をもとに、施設内に墓壇の復元整備が行われる予定です。

お墓は、隅丸長方形で、手足を折り曲げられた人骨が検出されています。頭には土器がかぶせられ、鉄製の銚や刀などが副葬された例がみられます。

○縄文時代前期の貝塚（根室市 関江谷 1 竪穴群）



根室市の関江谷 1 竪穴群では、縄文時代前期の押型文・尖底土器を伴う貝塚が調査されています。

貝塚は、台地上のわずかにくぼ地に、アサリを主体にオオノガイやウバガイなどの貝殻や、カレイ類やニシンなど魚の骨が捨てられて形成されたものです。貝層の一部は、写真のように剥ぎ取られ、パネルに貼り付けて展示されています。

平成 23 年度の発掘調査の概要は、下記の URL でご覧ください。

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h23gaiyou.htm>

Ⅱ 資 料 編

1 文化財

(1)文化財の指定状況(国指定・道指定)

国 道	区 分	種 別	地域を定 めず	空 知	石 狩	後 志	胆 振	日 高	渡 島	檜 山	上 川	留 萌	宗 谷	オ ホー ツク	十 勝	釧 路	根 室	国 保 有	計
国	指 定	国宝							1										1
		重要文化財			13	3	3	1	13	5	1	2	1	1	1	2		5	51
		重要無形文化財																	0
		重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
		重要無形民俗文化財			1														1
		特別史跡							1										1
		史跡(※)		1	8	6	6	1	10	2		1		4	2	6	4		51
		名勝			※1		※1	※1	1		1		※1	1 ※1					3
		特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
		天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
		小計	15	3	26	11	11	6	29	9	5	6	1	7	4	14	7	5	159
	選 定	重要伝統的建造物群保存地区							1										
		重 要 文 化 的 景 観						1											
		小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0							
	登 録	有形文化財（建造物）		25	20	14	6	1	19	1	10		2	6	7	1	8		120
		記念物							1										1
		小計	0	25	20	14	6	1	20	1	10	0	2	6	7	1	8	0	121
道	指 定	有形文化財		3	7	5	4	2	32	7		2	3	2	4	2	3		76
		有形民俗文化財			2				1	3									6
		無形民俗文化財							2	5									7
		史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
		名勝									1			1					2
		天然記念物		5			1	1	2	1	1		5	5	7	1	4		33
		小計	0	9	9	8	7	5	41	17	3	2	10	13	15	4	7	0	150
合 計			15	37	55	33	24	13	91	27	18	8	13	26	26	19	22	5	432

※国指定名勝の※印は指定件数が1件のため計、小計に加算していない。

・北海道の文化財→<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo.htm>

(2) 国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	函館市	H19. 6. 8

〔重要文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	札幌市	S8. 1. 23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	札幌市	S11. 9. 18
3	福山城（松前城）本丸御門	松前町	S16. 5. 8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	帯広市	S25. 8. 29
5	刀 無銘伝来国行	札幌市	S31. 6. 28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	室蘭市	S37. 6. 21
7	豊平館	札幌市	S39. 5. 26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	函館市	S42. 6. 15
9	北海道庁旧本庁舎	札幌市	S44. 3. 12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市	S44. 3. 12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	札幌市	S44. 8. 19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	札幌市	S45. 6. 17
13	旧三戸部家住宅	伊達市	S46. 12. 28
14	旧花田家番屋	小平町	S46. 12. 28
15	旧下ヨイチ運上家	余市町	S46. 12. 28
16	旧中村家住宅	江差町	S46. 12. 28
17	太刀川家住宅店舗	函館市	S46. 12. 28
18	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土）	北斗市	S48. 6. 6
19	旧函館区公会堂	函館市	S49. 5. 21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	千歳市	S54. 6. 6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館市	S58. 6. 2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土墳墓出土）	千歳市	S63. 6. 6
23	旧旭川偕行社	旭川市	H1. 5. 19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市	H1. 5. 19
25	北海道美利河 1 遺跡出土品	今金町	H3. 6. 21
26	北海道湯の里 4 遺跡土墳出土品	知内町	H3. 6. 21
27	龍雲院	松前町	H4. 1. 21

28	旧笹浪家住宅	上ノ国町	H4. 1. 21
29	正行寺本堂	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別 1 遺跡土墳墓出土品	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	札幌市（北海道立 文書館）	H16. 6. 8
43	北海道美々 8 遺跡出土品	江別市（北海道立埋 蔵文化財センター）	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澍院関係資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之国勝山館出土品	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡出土品	遠軽町	H23. 6. 27

※国保有重要文化財（No.7・19 東京国立博物館保管、No.23 北海道立埋蔵文化財センター、
No.34 江別市郷土資料館、No.41 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシャマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡	松前町 厚沢部町	S10. 6. 7 H14. 9. 20
6	モシリヤ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
7	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
8	鶴ヶ岱チャランケ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
9	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
10	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
11	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
12	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
13	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
14	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
15	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
16	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
17	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
18	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
19	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
20	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
21	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23

22	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
23	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
24	大館跡	松前町	S52. 4. 5
25	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
26	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
27	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
28	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
29	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
30	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
31	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
32	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
33	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
34	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
35	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
36	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
37	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
38	北黄金貝塚	伊達市	S62. 12. 25
39	入江・高砂貝塚	洞爺湖町	S63. 5. 13
40	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
41	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
42	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26
43	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
44	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアップツチャシ跡	新ひだか町・日高町	H9. 12. 2
45	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
46	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
47	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
48	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
49	鷲ノ木遺跡	森町	H18. 1. 26
50	垣ノ島遺跡	函館市	H23. 2. 7
51	旧奥行白駅通所	別海町	H23. 9. 21

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14
2	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	H13. 8. 13
3	ピリカノカ 九度山（クトゥンヌプリ）	名寄市	H21. 7. 23
	黄金山（ピンネタイオルシペ）	石狩市	H21. 7. 23
	神威岬（カムイエトゥ）	枝幸町・浜頓別町	H22. 2. 22
	襟裳岬（オンネエンルム）	えりも町	H22. 8. 5
	瞰望岩（インカルシ）	遠軽町	H23. 2. 7
	カムイチャシ	豊浦町	H23. 2. 7
	絵鞆半島外海岸	室蘭市	H24. 1. 24

〔特別天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ（植物）	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林（植物）	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落（植物）	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山（地質）	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山（天然保護区域）	上川町・東川町・美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S27. 3. 29

〔天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯（植物）	倶知安町・京極町・喜茂別町・真狩村・ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林（植物）	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林（植物）	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地（植物）	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落（植物）	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林（植物）	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯（植物）	厚沢部町	S 3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地（動物・鳥類）	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯（植物）	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地（動物・魚類）	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬（動物・犬類）	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石（鉱物）	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧（鉱物）	名寄市	S14. 9. 7

15	根室車石（地質）	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地（植物）	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地（植物）	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地（動物・昆虫）	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒョウモン（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマガラ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ（動物・鳥類）	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原（天然保護区域）	標茶町・鶴居村・釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・新潟県	S45. 1. 23
28	オオワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林（天然保護区域）	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46. 5. 19
32	ヒシクイ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落（植物）	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島（天然保護区域）	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石（鉱物）	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原（天然保護区域）	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林（植物）	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯（植物・地質）	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地（地質・植物）	足寄町	H12. 9. 6

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区	函館市	H1. 4. 21

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 26

- ・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3) 道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯉供養塔	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	函館市	S43. 3. 29
22	楳法華出土の尖底土器	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	沼田町	S46. 3. 5

28	徳山大神宮	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K－4 4 6 遺跡出土の遺物	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイポ遺跡出土の遺物	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	小樽市	H6. 2. 9

63	奥行臼駅通	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カミノミの図	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	江別市(北海道立図書館)	H22. 3. 16
75	大麻 3 遺跡出土の土偶	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	平取町	H24. 3. 19

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町・福島町・函館市・小樽市	H20. 6. 13

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓及び出土遺物	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家墳墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッベ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

〔天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
-----	-----	-------	-------

1	斜里海岸の草原群落	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアクセシソウ群落	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球類	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮎生息地	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町	S47. 4. 1
26	オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露头	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギウ化石標本	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	礼文町	H6. 6. 3
31	黄金水松	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝颯穴群	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	別海町	H23. 3. 15

・道指定文化財一覧は→

<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定文化財一覧

管内	有形文化財 (建造物)		有形文化財 (美術工芸品)	無形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然 記念物	伝統的 建造物群	計
	件数	(棟数)			有形	無形					
空知	16	(17)	35	3	4	17	10	0	10	0	95
石狩	8	(8)	21	1	2	3	5	0	4	0	44
後志	9	(9)	28	1	0	11	26	2	10	0	87
胆振	9	(9)	41	0	12	15	22	0	14	0	113
日高	1	(1)	17	5	0	0	2	1	1	0	27
渡島	2	(2)	111	0	18	15	9	4	8	0	167
檜山	7	(10)	50	0	9	13	4	1	1	0	85
上川	15	(16)	20	3	0	10	16	0	21	0	85
留萌	3	(3)	4	0	3	7	42	0	1	0	60
宗谷	15	(15)	13	0	0	2	14	0	7	0	51
ホーツク	8	(8)	12	0	4	1	6	0	7	0	38
十勝	3	(3)	37	1	1	8	6	0	15	0	71
釧路	3	(3)	14	2	0	2	6	0	14	0	41
根室	2	(6)	14	0	1	2	6	0	20	0	45
合計	101	(110)	417	16	54	106	174	8	133	0	1,009

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/grp/03/itiran220401.pdf>

(5) 管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	20	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	1	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	19	1
檜山	1	0
上川	10	0
留萌	0	0
宗谷	2	0

管内	有形文化財	記念物
ホーツク	7	0
十勝	7	0
釧路	1	0
根室	7	0
合計	120	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

〔有形文化財〕

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	札幌市資料館（旧札幌控訴院）	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28

34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	H17. 7. 12
65	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18

69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29
89	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
92	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学(旧頼城小学校)校舎	芦別市	H20. 3. 7
94	星槎大学(旧頼城小学校)体育館	芦別市	H20. 3. 7
95	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
96	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
97	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
98	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
99	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7
100	中標津町郷土館緑ヶ丘文官（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
101	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7
102	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10
103	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10

104	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
105	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
106	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
107	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
108	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
109	双葉幼稚園園舎	帯広市	H22. 9. 10
110	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市	H23. 10. 28
111	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
115	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
116	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
117	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
118	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
119	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
120	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23

〔記念物〕

	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

- ・ 国登録文化財一覧は→<http://www.dokvoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

（７）平成 23 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

〔一般公開・展示会〕

市町村名	公 開 ・ 活 用 事 業 名	主 催 者
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 石器群の公開	岩見沢市郷土科学館
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 厳見澤紀碑の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 一の沢水源地取水塔の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 旧國兼家住宅の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 阿弥陀如来立像の公開	岩見沢市教育委員会
美唄市	〈道指定 有形文化財〉 美唄屯田兵屋の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 旧桜井家住宅の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 美唄屯田騎兵隊火薬庫の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 天然記念物〉 光珠内いん石の公開	美唄市教育委員会

美唄市	〈市指定 有形文化財〉	4 1 1 0 形式十輪連結タンク機関車 2 号の公開	美唄市教育委員会
芦別市	〈道指定 史跡〉	野花南周堤墓群	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 有形文化財〉	滝里遺跡群出土遺物の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉	黄金水松の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉	旧干場家レンガ倉庫の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 天然記念物〉	新城仙台山の三本ナラの公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉	毛抜形太刀の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈国登録 有形文化財〉	星槎大学(旧頼城小学校)校舎及の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉	星槎大学(旧頼城小学校)体育館の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁の公開	星の降る里百年記念館
滝川市	〈市指定 有形文化財〉	華月館の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉	屯田兵屋の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉	牧羊用石造サイロの公開	滝川市教育委員会
深川市	〈郷土資料館企画展示〉	収蔵資料展：木工具を調べる	深川市生きがい文化センター
栗山町	〈町指定 有形文化財〉	「千瓢彫」本田数馬翁の遺作 木彫りの鮭の公開	栗山町教育委員会
栗山町	〈町指定 有形文化財〉	泉記念館の公開	栗山町開拓記念館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉	泉麟太郎君記念碑の公開	栗山町開拓記念館
月形町	〈町指定 有形文化財〉	樺戸集治監本庁舎の公開	月形町役場産業課商工観光係
月形町	〈町指定 有形文化財〉	北海回覧記の公開	月形町役場産業課商工観光係
新十津川町	〈町指定 有形文化財〉	絵馬（玉置神社奉祀之景）の公開	新十津川町教育委員会
秩父別町	〈町指定 有形文化財〉	屯田の鐘の公開	秩父別町教育委員会
沼田町	〈町指定 有形文化財〉	クラウドス 1 5 号蒸気機関車の公開	沼田町教育委員会
沼田町	〈道指定 有形文化財〉	本願寺駅通の公開	沼田町教育委員会
札幌市	世界遺産を目指してー 北の縄文・パネル展		北海道環境生活部縄文世界遺産推進室
札幌市	札幌市埋蔵文化財センター企画展		札幌市埋蔵文化財センター
札幌市	〈国指定 重要文化財〉	北海道大学農学部植物園・博物館の公開	北海道大学植物園
札幌市	〈国指定 重要有形民俗文化財〉	アイヌのまるきぶねの公開	北海道大学植物園
札幌市	〈国指定 重要文化財〉	北海道大学農学部第二農場の建物の公開	北海道大学総合博物館
札幌市	野外博物館北海道開拓の村（歴史的建造物 52 棟）		一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	第 2 9 回 児童写真会絵画展		一般財団法人北海道開拓の村
江別市	「わかる考古学 縄文生活体験ひろば展」		北海道立埋蔵文化財センター
江別市	「北海道遺跡百選」展		北海道立埋蔵文化財センター
千歳市	千歳市埋蔵文化財資料常設展示		千歳市埋蔵文化財センター
恵庭市	〈国指定 重要文化財、市指定有形文化財〉	カリンバ遺跡墓坑出土品の公開	恵庭市郷土資料館

石狩市	〈国指定 史跡〉 荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市教育委員会
石狩市	〈道指定 有形民俗文化財〉 金龍寺の鮫様の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 天然記念物〉 チョウザメの剥製の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 旧長野商店の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 石狩弁天社の公開	石狩市教育委員会
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧手宮鉄道施設の公開 〈市指定 史跡〉 北海道鉄道開通起点の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 木造聖観音立像の公開	浅草観音寺
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 日本銀行旧小樽支店(金融資料館)の公開	金融資料館
小樽市	〈道指定 史跡〉 地鎮山環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 にしん漁場建築(旧田中家母屋)の公開	小樽市産業港湾部観光振興室
小樽市	〈国指定 史跡〉 手宮洞窟の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国指定 史跡〉 忍路環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国登録 有形文化財〉 J R 小樽駅本屋 プラットホーム	J R 北海道
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧日本郵船株式会社小樽支店の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 木造 五百羅漢像の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 木造 聖観音立像の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国登録 有形文化財〉 J R 小樽駅(本屋・プラットホーム)の公開	J R 小樽駅
小樽市	〈国登録 有形文化財〉 旧青山家別邸(主屋・文庫蔵・板塀)の公開	小樽貴賓館 旧青山別邸
小樽市	企画展 北海道近代化の旗手「明治の蒸気機関車」	小樽市総合博物館
小樽市	企画展 小樽駅と船舶写真	小樽市総合博物館
小樽市	保存修理工事現場の「出土遺物」	小樽市総合博物館
寿都町	寿都町総合文化センター内文化財展示室	寿都町教育委員会
留寿都村	留寿都村公民館郷土資料室の公開	留寿都村教育委員会
室蘭市	〈市指定有形文化財〉 仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾、友情人形の公開	室蘭市民俗資料館
室蘭市	〈市指定有形文化財〉 輪西屯田兵記念碑、輪西屯田兵旧火薬庫、輪西屯田兵関係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 白鳥大橋海底部等出土の材化石及び貝化石標本の公開	白鳥大橋記念館みたら
室蘭市	〈国登録 有形文化財〉 室蘭市旧室蘭駅舎の公開	室蘭観光協会
室蘭市	〈国指定 史跡〉 東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡の公開	室蘭市教育委員会
苫小牧市	苫小牧研究林 標本貯蔵室の公開	北海道大学苫小牧研究林
登別市	「武士達の登別移住顚末」展	登別市郷土資料館
登別市	「Do You Know こけし？」展	登別市郷土資料館
平取町	沙流川歴史観常設展示(埋蔵文化財)	沙流川歴史館
平取町	特別展「沙流川流域のチャシ跡」	沙流川歴史館
伊達市	迎賓館(ボランティアくわの会)の解説	伊達市教育委員会

函館市	〈国指定 重要文化財〉 旧函館区公会堂	函館市重要文化財旧函館区公会堂
函館市	収蔵資料・企画展「渡島半島のアイヌ民族資料―椎久家旧蔵資料展―」	函館市北方民俗資料館
北斗市	北斗市郷土資料館 新収蔵品展	北斗市郷土資料館
松前町	北の縄文パネル展	松前町教育委員会
松前町	「松前・江差 商人文化」公開・講演事業	松前町教育委員会
松前町	特別展示会「北方ブランド蝦夷錦」	松前町教育委員会
福島町	〈町指定 有形文化財〉 神楽用獅子頭、観世音菩薩像の公開	福島町教育委員会
福島町	〈道指定 有形文化財〉 宮歌家文書の公開	福島町教育委員会
森町	探検縄文時代	森町教育委員会
八雲町	〈国指定 重要文化財〉 コタン温泉遺跡出土品展	八雲町郷土資料館
長万部町	町民センター 考古学資料コーナー開放	長万部町教育委員会
名寄市	〈国指定 天然記念物〉 名寄鈴石・名寄高師小僧の公開	名寄市北国博物館
当麻町	〈町指定 史跡〉 旧当麻神社跡丘陵地の公開	当麻町教育委員会
当麻町	〈道指定 天然記念物〉 当麻鍾乳洞の公開	当麻町総務企画課
剣淵町	剣淵町資料館の開設	剣淵町教育委員会
剣淵町	〈町指定 有形文化財〉 屯田兵屋の公開	剣淵町教育委員会
増毛町	〈国指定 重要文化財〉 旧商家丸一本間家の公開	増毛町教育委員会
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 須恵器（甕）の公開	苫前町郷土資料館
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 修羅の公開	苫前町郷土資料館
利尻富士町	利尻の古代遺跡展	利尻富士町教育委員会
北見市	常呂町歴史資料展	北見市教育委員会
網走市	〈国指定 史跡〉 最寄貝塚発掘史料特別展示	網走市立郷土博物館
斜里町	知床博物館特別展「ウトロ遺跡群発掘資料展」	斜里町立知床博物館
訓子府町	〈町指定 有形文化財〉 緑丘B遺跡及び増田遺跡の出土遺物の公開	訓子府町教育委員会
興部町	米田御殿一般公開	興部町教育委員会
興部町	興部町郷土資料館一般公開	興部町教育委員会
上士幌町	嶋木遺跡出土遺物の公開	上士幌ひがし大雪博物館
大樹町	〈道指定 史跡〉 十勝ホロカヤントー堅穴群の公開	大樹町教育委員会
大樹町	〈道指定 有形文化財〉 大樹遺跡出土の遺物(大樹式土器)の公開	大樹町教育委員会
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 幕別町蝦夷文化考古館収蔵品の公開	幕別町蝦夷文化考古館
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 札内N遺跡出土品の公開	幕別町ふるさと館
豊頃町	〈町指定 有形民俗文化財〉 二宮尊親の書「遂終」の公開	豊頃町教育委員会
豊頃町	昔の農機具展の公開	豊頃町教育委員会
釧路市	〈市指定 有形文化財〉 星兜（残欠）の公開	釧路市立博物館
別海町	〈道指定 有形文化財〉 奥行白駒通の公開	別海町教育委員会

別海町	〈町指定 有形文化財〉 奥行臼駅の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所の公開	別海町教育委員会
標津町	平成23年度発掘調査速報展	標津町ポー川史跡自然公園
中標津町	〈国登録 有形文化財〉 旧北海道農業試験場根室支場陳列館の公開	中標津町教育委員会

〔イベント〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
妹背牛町	妹背牛町獅子舞保存会出演	妹背牛町教育委員会
札幌市	第30回時計台まつり記念行事	時計台まつり実行委員会
札幌市	特別企画 映画「アイヌのユリ子さん」上映会	北海道開拓記念館
札幌市	体験学習室 タイムマシンにのって昔の道具に会いに行こう！	北海道開拓記念館
札幌市	漁場の一年	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	市街地のくらし	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	写真館で記念撮影	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	北海道文化財保護功労者表彰式	北海道文化財保護協会
小樽市	ギャラリートーク 明治の蒸気機関車	小樽市総合博物館
函館市	公会堂コンサート	函館市重要文化財旧函館区公会堂
小平町	おびらっ子クラブ「こども番屋探検隊」	小平町教育委員会
利尻富士町	南浜獅子神楽の公演	利尻富士町教育委員会
湧別町	文化財保護がかり（第5回）「町の天然記念物を知ろう」	湧別町教育委員会ふるさと館 JRY
湧別町	博物館宿泊体験	湧別町教育委員会ふるさと館 JRY
帯広市	郷土学習バス見学会「南と価値の歴史探訪」	帯広百年記念館

〔講演・講座〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	平成23年度アイヌ文化財専門職員研修会	北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課
札幌市	博物館ボランティア体験講座	一般財団法人 北海道開拓の村
札幌市	文化財講演会「正倉院宝物と光明皇后」	北海道文化財保護協会
江別市	「模型で学ぶ縄文の家づくり」	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	秋季講演会「文化財を保存して継承することの大切さと難しさ～高松塚古墳・キトラ古墳の保存と平城京大極殿の復元を中心に～」	北海道立埋蔵文化財センター
平取町	沙流川歴史館講座	沙流川歴史館
函館市	2011 国際縄文フォーラム縄文文化とユーラシアの様相	国際縄文フォーラム実行委員会
函館市	「アイヌ文様刺しゅう教室」初級編	函館市北方民俗資料館
函館市	「アイヌ文様刺しゅう教室」入門編	函館市北方民俗資料館
松前町	「北のシルクロードと松前」	松前町教育委員会
小平町	古文書教室	小平町教育委員会

利尻富士町	りぷら de 学ぶ利尻学 2011「利尻の遺跡を学ぶ」	利尻富士町
網走市	北海道博物館紀行オホーツクミュージアムえさし琥珀を磨いてみよう	北海道立北方民族博物館
帯広市	博物館講座「アイヌ絵からわかるアイヌ文化」	帯広百年記念館
厚岸町	古文書教室	厚岸町海事記念館
厚岸町	平成 23 年度文化財歴史講演会	厚岸町海事記念館

・平成 23 年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm>

(8) 平成 23 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 33 名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール対象件数	51	51	9	47	11,830	
パトロール実施件数	31	46	5	45	204	331

(9) 平成 23 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等の許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

国指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	18	0	56	74
北海道教育委員会	3	0	6	9
市町教育委員会	24	1	24	49

道指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	0	11	11

(10) 平成 23 年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
90	18	388	48	13	557

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧

空	岩見沢市	54	後志	ニセコ町	194	渡島	知内町	32	上川	幌加内町	8	十勝	雄武町	48
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	52		(上川計)	1,069		(オホーツク計)	2,151
	美瑛市	6		留寿都村	7		北斗市	104		留萌市	28		帯広市	59
	芦別市	93		喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	105
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	39
	三笠市	12		倶知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74
	滝川市	10		共和町	30		八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	49
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	30
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	939		遠別町	5		清水町	36
	深川市	75		神恵内村	10	檜山	江差町	64		天塩町	43		芽室町	61
	南幌町	0	志	積丹町	17		上ノ国町	90		(留萌計)	165		中札内村	5
	奈井江町	22		古平町	11		厚沢部町	54	宗谷	稚内市	139		更別村	16
	上砂川町	0		仁木町	24		乙部町	111		猿払村	18		大樹町	32
	由仁町	37		余市町	63		せたな町	70		浜頓別町	19		広尾町	21
	長沼町	58		赤井川村	66		奥尻町	32		中頓別町	8	勝	幕別町	132
	栗山町	37		(後志計)	802		今金町	59		枝幸町	70		池田町	58
	月形町	8		室蘭市	36		(檜山計)	480		豊富町	16		豊頃町	52
	浦臼町	48		苫小牧市	260	上川	旭川市	216		礼文町	55		本別町	99
	新十津川	15	知	登別市	30		士別市	46		利尻町	11		足寄町	114
	妹背牛町	4		伊達市	89		名寄市	150		利尻富士町	20		陸別町	55
	秩父別町	8		豊浦町	20		富良野市	141		幌延町	20		浦幌町	58
	雨竜町	5		洞爺湖町	15		鷹栖町	28		(宗谷計)	376		(十勝計)	1,095
	北竜町	10		壮瞥町	1		東神楽町	24	オホ	網走市	166	釧路	釧路市	136
	沼田町	6		白老町	44		当麻町	18		北見市	448		釧路町	76
	(空知計)	556	石狩	安平町	71		比布町	22		紋別市	66		厚岸町	90
	札幌市	532		厚真町	135		愛別町	23		大空町	63		浜中町	121
	江別市	142		むかわ町	98		上川町	23		美幌町	122		標茶町	208
	千歳市	284		(胆振計)	799		東川町	22		津別町	54		弟子屈町	50
	恵庭市	125		日高町	132	川	美瑛町	43	ホ	斜里町	364		鶴居村	73
	北広島市	59		平取町	127		上富良野町	37		清里町	35		白糠町	30
	石狩市	221		新冠町	43		中富良野町	35		小清水町	42		(釧路計)	784
	当別町	18		新ひだか町	153		南富良野町	25		訓子府町	263	根室	根室市	305
	新篠津村	2		浦河町	58		占冠村	11		置戸町	104		別海町	85
	(石狩計)	1,383		様似町	28		和寒町	36		佐呂間町	38		中標津町	66
後志	小樽市	102	渡島	えりも町	67		剣淵町	30		遠軽町	217		標津町	191
	島牧村	24		(日高計)	608		下川町	69		湧別町	54		羅臼町	75
	寿都町	43		函館市	320		美深町	42		滝上町	15		(根室計)	722
	黒松内町	51		松前町	122		音威子府村	10		興部町	38		計 11,929	
	蘭越町	48		福島町	33		中川町	10		西興部村	14		(前年比 46 箇所増)	

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」をご覧ください。

→<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 23 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	375	
平成 23 年度北海道実施の所在調査	52	10,419.050ha
平成 23 年度北海道実施の試掘調査	78	219.871ha

(3) 平成 23 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
空知	5	310.336ha	3	2.925ha
石狩	4	2,220.000ha	11	68.618ha
後志	4	836.050ha	4	6.923ha
胆振	4	29.977ha	7	19.668ha
日高	2	25.900ha	2	6.000ha
渡島	0	—	3	1.970ha
檜山	2	29.400ha	1	1.345ha

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
上川	8	209.880ha	7	12.515ha
留萌	1	2.550ha	1	1.400ha
宗谷	1	1.227ha	3	11.150ha
オホーツク	6	3,444.898ha	10	19.565ha
十勝	14	3,037.102ha	25	65.781ha
釧路	1	1.730ha	1	2.011ha
根室	0	—	0	—

(4) 平成 23 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	調査面積
空知	2	3,700 m ²
石狩	6	7,850 m ²
後志	1	50 m ²
胆振	13	11,810 m ²
日高	0	—
渡島	20	29,418 m ²
檜山	2	1,572 m ²

管内	件数	調査面積
上川	7	10,153 m ²
留萌	0	—
宗谷	3	88 m ²
オホーツク	15	7,796 m ²
十勝	4	2,844 m ²
釧路	1	25 m ²
根室	5	3,612 m ²
合計	79	78,918 m ²

・平成 23 年度の発掘調査の概要→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h23gaiyou.htm>

(5) 平成 23 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	1	2	54	28	0	85
法第 94 条	0	28	31	25	0	84

(6) 平成 23 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

(7) 平成 23 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道	82	2	84	3,988 箱
政令市・中核市	1	16	17	133 箱

(8) 平成 23 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	24	94	3,783 箱

※箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画 平成20年3月）

基本目標5 北海道らしい生活学習社会の実現

基本方向1.1 文化・芸術活動の推進

項目3.6 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い歴史が刻み込まれた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、これまでも道民の共有財産として保存・活用を図ってきましたが、時代の推移により保存や伝承が困難となっているものもあるため、次の世代に確実に守り伝えていくことが課題となっています。

また、北海道の国史の誕生や縄文遺跡群など【①】の世界遺産登録への北海道の盛り上がりなどにより、文化財に対する関心が一層高まる中で、北海道の特色を生かした文化財の保存・活用や文化財を活用した魅力ある地域づくりが求められています。

● 施策の概要

北海道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、「アイヌ民族文化財」の保存・伝承の取組を重点的に推進します【②】。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に努めます。

● 施策の対応方向

■ 文化財の調査・保存・活用の推進

・ 有形・無形の文化財、史跡・名勝・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。

■ アイヌ民族文化財の調査・保存・伝承活動の推進

・ アイヌの人たちが北海道の風土に根ざして育んできた文化は、北海道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民族文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組みるとともに、保存・伝承活動を推進します。また、引き続き、学校においてアイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深める教育活動の充実に取り組みます。

■ 世界遺産登録に向けた取組の推進

・ 縄文遺跡群や大規模縄文住居跡群を資産価値として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産への登録に向けた取組を推進します。

■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信

・ 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で継承していくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、子どもや高齢の人々が文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。

● 主な事業の概要（H20～24）

事業の概要	実施主体
○ 文化財の調査・保存・活用の推進 - 文化財の指定や登録等を推進するとともに、文化財パトロールの実施等により、指定文化財等の現状を把握し、必要に応じて保存整備を行います。 - 埋蔵文化財発見地の適切な把握とその周知に努めます。	道・市町村・民間
○ アイヌ民族文化財の調査・保存・伝承活動の推進 - アイヌ民族文化財調査事業やアイヌ民族文化財保存・伝承事業を実施するとともに、「アイヌ民族文化祭」やアイヌ民族専門養成講座等の開催を支援します。 - アイヌ民族文化財等の展示を推進します。	道・市町村・民間
○ 世界遺産登録に向けた取組の推進 縄文遺跡群や大規模縄文住居跡群を資産価値として、北海道3県（釧路県、岩手県、秋田県）及び道内関係市町村等と連携を図り、世界遺産暫定一覧表への登録をめざすとともに、普及・啓発事業や周知活動に取り組みます。	道・市町村・民間
○ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 「文化財保護情報月報」を提供して文化財に親しむ機会を提供するとともに、web版「北海道文化財年報」や指定文化財情報等のデータベース化を図り、文化財に関する総合的な情報の発信に取り組みます。	道・市町村・民間

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H18 295件	H24 320件
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で開催されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H18 1,262人	H24 1,500人

(2) 平成 23 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

- ・ 申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ

直通電話 (011)204-5749 FAX (011)232-1076

平成 23 年度は次のとおり開催しました

開催年月日	時 間	場 所	審 議 内 容
平成 23 年 10 月 18 日 (火)	13 : 30 ～15 : 20	かでの 2・7 920 会議室	・ 文化財指定・登録の状況について ・ 文化財の指定・登録に向けた取組について
平成 24 年 2 月 28 日 (火)	14 : 00 ～16 : 40	道庁別館 地下 1 階 大会 議室	・ 文化財指定・登録の状況について ・ 「大麻 3 遺跡出土の土偶」「二風谷遺跡群 出土品」の道指定有形文化財の指定について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧（平成 24 年 3 月 31 日現在）

（任期：平成 22 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）

氏 名	所 属 等
乾 淑 子	東海大学教授
岩 澤 孝 子	北海道教育大学准教授（岩見沢校）
臼 杵 勲	札幌学院大学教授
小 栗 祐 美	北海道教育大学教授（函館校）
片 倉 晴 雄	北海道大学大学院教授
菊 池 俊 彦	北海道大学名誉教授
駒 木 定 正	北海道職業能力開発大学校教授
斉 藤 傑	三浦綾子記念文学館副館長
高 橋 英 樹	北海道大学総合博物館教授
土 屋 周 三	元小樽市総合博物館館長
早矢仕 有 子	札幌大学准教授

本 田 優 子	札幌大学副学長
稗 田 昭 人	北海道開発局開発監理部長
松 本 芳 樹	北海道森林管理局企画調整部長
箕 浦 名知男	北海道大学総合博物館研究員

・稗田昭人委員の任期は、平成 23 年 5 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日

・北海道文化財保護審議会について→<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 23 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 23 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 23 年 6 月 24 日(金)	10:30～15:00	道庁別館 9 階第 1 研修室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 23 年 8 月 26 日(金)	10:30～15:00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室(旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 23 年 11 月 22 日(火)	10:30～15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 24 年 2 月 15 日(水)	10:30～15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

(任期：平成 22 年 5 月 28 日～平成 24 年 3 月 31 日)

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
田 中 益 穂	札幌(6 月)、旭川
川合 喜與文	旭川、札幌(11 月)
梶 睦	札幌(6 月、2 月)
野 波 明 利	旭川、札幌(11 月、2 月)
石 井 利 明	札幌(6 月、11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

①入館者

平成 23 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	920	1223	1277	1278	1230	1110	839	539	423	379	286	696	10,200

②資料等の閲覧・貸出等件数

平成 23 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	5	4	4	5	7	6	3	4	3	5	8	12	66

③事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 22 年度発掘調査報告会	平成 23 年 4 月 9 日	72 人
	秋季講演会	平成 23 年 10 月 22 日	68 人

	冬季講演会	平成 23 年 12 月 10 日	53 人
考古学教室	考古学入門講座	平成 23 年 5 月 14 日	18 人
	ガラス玉づくり	平成 23 年 6 月 18 日	15 人
	模型で学ぶ縄文の家づくり	平成 23 年 10 月 8 日	15 人
	石器づくり	平成 23 年 11 月 26 日	12 人
	拓本講座	平成 24 年 2 月 18 日	9 人
親子 考古学教室	親子ガラス玉づくり	平成 23 年 6 月 25 日	23 人
	写生会	平成 23 年 7 月 7 日～10 月 10 日	92 人
	夏休み親子考古学教室(第 1 回)	平成 23 年 7 月 23 日	48 人
	夏休み親子考古学教室(第 2 回)	平成 23 年 7 月 30 日	48 人
	冬休み親子考古学教室(第 1 回)	平成 24 年 1 月 7 日	10 人
	冬休み親子考古学教室(第 2 回)	平成 24 年 1 月 14 日	4 人
	冬休み縄文生活体験ひろば	平成 24 年 1 月 4 日～3 月 4 日	18 人
	冬休み親子写真撮影会		
研修会	平成 23 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 23 年 12 月 16 日	30 人

④平成 23 年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 22 年度発掘調査成果展	平成 23 年 3 月 26 日～6 月 5 日
2	世界遺産を目指す北の縄文展	平成 23 年 4 月 1 日～24 年 3 月 31 日
3	わかる考古学 6—縄文生活体験ひろば—展	平成 23 年 7 月 2 日～10 月 10 日
4	北海道遺跡百選 4—北海道埋蔵文化財センターの調査から	平成 23 年 10 月 29 日～24 年 3 月 4 日
5	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 23 年度発掘調査成果展	平成 24 年 3 月 31 日～6 月 10 日

⑤平成 23 年度考古学教室出前講座一覧

事業分

市町村	実施場所	実施日	参加人数
共和町	共和町かかし古里館	平成 23 年 7 月 2 日	12 名
函館市	函館市立あさひ小学校	平成 23 年 7 月 20 日	49 名
浦幌町	浦幌町郷土資料館	平成 23 年 7 月 24 日	20 名
旭川市	旭川市博物館	平成 23 年 8 月 6 日	37 名
池田町	池田町教育委員会	平成 23 年 9 月 17 日	13 名
真狩村	真狩村公民館	平成 23 年 11 月 16 日	45 名

(7)文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (年 4 回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
指定文化財を見ることのできる主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 4 回刊行しています。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 22 年度北海道文化財年報	平成 23 年 6 月 24 日	平成 22 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/22bunkazai-nenpo.htm
平成 23 年度文化財保護強調月間	平成 23 年 9 月 21 日	北海道文化財強調月間(10 月 8 日～11 月 7 日)期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutvougekkkan.htm
市町村における発掘調査の概要(平成 23 年度版)	平成 24 年 3 月 5 日～	平成 23 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h23gaiyou.htm
もっと知ろう身近な文化財(指定文化財概要一覧)	平成 21 年 12 月 16 日～ (随時更新)	国指定・道指定の概要について画像とともに紹介しています。
		U R L : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/shiteibunnkazaijoho.htm

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
	U R L : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm	

(8)文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部道民活動文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dbs/
3	財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/